

宝本ひであき 市政だより

札幌市議会 民主党・市民連合 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所17F tel (011) 211-3212 fax (011) 218-5121

札幌国際芸術祭2014 閉幕



いっしょに
つくろう。
SIAF 2014

「都市と自然」をテーマに開かれた現代アートの祭典「札幌国際芸術祭2014」が、去る9月28日に72日間の全日程を終了し閉幕しました。来場者は47万8252人と、目標の30万人を大きく上回る結果となりました。

「何ととっても今回は初回。当初からこの芸術祭を通して札幌にいくつかの種をまくことができたなら成功だと思ってきました。芸術祭の究極のゴールは札幌市民が創造的で豊かになること。たくさんのボランティアをはじめ札幌国際芸術祭2014を成功に導いたすべての皆さまにおめでとうと言いたいです。」

(坂本龍一)



最終日、市役所ロビーにて行なわれたファイナルトークにてゲストディレクターの坂本龍一さんから寄せられたメッセージが披露されると来場者から拍手が沸き起こり、企画アドバイザーを務めた京都造形芸術大学大学院の浅田彰院長は、「芸術祭は札幌でしかできない明確なテーマで、焦点がしぼられたことがとてもよかった。たくさんの皆さんから支持を集めたことは次に向かっての大きな種になったと思う」と総括されました。

「都市と自然」をテーマに世界で活躍するアーティスト64組が参加した今回の芸術祭は、市内の随所で作品を展示し、またパフォーマンスライブなど様々なプログラムも展示されました。上田市長は「多くの市民が自分達の暮らしや街の未来を考えるきっかけになったと思う。札幌がもつすばらしい魅力を世界に発信すると同時に、創造性を生かしたまちづくりの広がりなど、『創造都市さっぽろ』への歩みを大きく進めることができた」とし、今後は3年に一度開催する「トリエンナーレ方式」として、継続的な開催を目指していきます。

また、そのファイナルトークにて参加者より「北3条広場の巨大石(※注)を残してもらいたい。今回の芸術祭の象徴だと思う」との意見が出され、芸術祭終了後は撤去し二風谷の元の場所へ戻す予定でしたが、市は作者である島袋道浩さんと協議のうえ、次回開催までの3年間札幌市資料館前に移設・展示することが決定し、10月28日に島袋さんが立ち会って作業し29日より公開しています。上田市長は「市民をはじめ、多くの方に特別な思いや考えを抱かせたこの作品を芸術祭の記憶としてとどめ、次回開催への架け橋となるメモリアル的な作品にふさわしいと考えた。展示場所が変わることで、また違う顔を見せる島袋さんの作品を多くの市民に見てもらいたい」と語り、3年後の芸術祭開催に向けた機運の醸成を願っていました。

※注 作品名「一石を投じる」作:島袋道浩
道庁赤レンガ前の北3条広場(アカプラ)に置かれた巨大石作品。
今回の芸術祭に合わせ島袋さんが平取町二風谷で見つけた重さ10数トンの自然石を広場に運び展示したものの。



移設展示された巨大石「一石を投じる」

第3回定例市議会より

市電運賃の値上げ先送りに

収支推計を再精査

札幌市交通局は、来年10月に予定の市電運賃の値上げについて「電気料金の再値上げやループ化時期の遅れなどで、将来的な収支推計について再精査する必要が生じた」として、先送りする考えを明らかにしました。

今年6月に策定した交通事業経営計画では、来年10月から現行170円より30円値上げするとしていましたが、来春予定のループ化事業が半年程度遅れることや、国土交通省との協議に時間を要すると判断しました。また「SAPICA」の導入効果については、ウィズユーカード作成経費や機器メンテナンス費用が軽減され、年間約7億円のコスト削減につながっていると答えました。

乗車と買い物が可能など、利便性の高いサービスが求められている今、今後の展開を戦略的に進めていくため、販売を行なう交通局と電子マネーを管理する総務局の一元化を要望しました。

札幌の象徴空間に

市役所隣接のNTT所有地の活用検討

市民交流複合施設の整備が進む北1西1地区の市街地再開発組合設立認可など、創世交流拠点のまちづくりが具体的に進み始めています。これに関連し、市役所に隣接するNTT東日本の敷地活用について、市は「同敷地が大通沿道にあること、時計台と大通りを結ぶ位置に立地し

ているなど重要な場所」として取得も含めて活用を検討していることを明らかにしました。都心まちづくり計画の見直しでは、大通交流拠点と創世交流拠点を一体的に考えていくことが確認されています。すでに、大通西1丁目のNHK札幌放送局の土地と北1西9の市有地交換が合意しており、大通西1、2丁目街区の一体的なまちづくりが進むことで、札幌を象徴する都市空間の創出が期待されています。



宝本 英明

会期延長を検討

さっぽろオータムフェスト

道内のご当地グルメや、旬の食材を使った料理・特産品を堪能できる食の祭典「さっぽろオータムフェスト」は、毎年9月中旬より17日間大通公園を主会場に開催されています。今年では来場者200万人超えを記録し、わずか7年でさっぽろ雪まつりや夏まつりの集客数に肩を並べることとなりました。

道外からの集客も確実に伸びており、にぎわいを持続させていくことが必要と考え、市へ開催期間の延長を求めたところ、市は、来場者アンケートでも会期延長を望む声が82%と多く観光客が少ない閑散期対策を踏まえ、実行委員会と検討していく考えを示唆しました。また、会場が手狭なためレイアウトの工夫や、出展時の公募方法の公平性・透明性を確保するように求めました。

札幌冬季五輪誘致に向けて

試算では、オリンピックが2月に17日間、パラリンピックが3月に10日間開催された場合を想定。競技施設の建設費は995億円、選手村やメディアセンターなどの建設費が1139億円、このほか大会運営費を過去4大会の平均額を算出し1861億円、招致経費を50億円と見込み、合計で4045億円としました。札幌市の負担額は、国・道からの支援やスポンサー収入などの見込み3330億円を除いた、715億円としています。経済波及効果は、道内で7737億円、市内でも5404億円に上るとしたほか、道内だけで約6万1千人の雇用を生み、観光客は約377万人が訪れるとの見通しを示しました。

上田市市長も誘致へ意欲を示し、10月に市民1万人を対象にアンケート調査を実施するなど、広く意見を聞いたうえで最終判断します。2019年に開催都市が決まり、実現すると札幌開催は1972年以降2度目となります。



宝本ひであき
オフィシャルサイト

<http://hidelog2.takamoto.jp/>

..... ブログ更新中!!

札幌市政に関する皆さまの
ご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

〒060-8611
札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所17F
tel(011)211-3212 fax(011)218-5121

office

〒001-0021
札幌市北区北21条西2丁目1-14
tel(011)757-1119 fax(011)757-1129



毎週金曜日に街頭にて市政報告を行っています。

場所 サンプラザ東側